

親和会会報

白坊隆書

43号

2019. 10



■講演会・総会・ 懇親会のご案内■

会員の皆様、お元気で過ごしてでしょうか？ 暑い夏も一段落したように思います。

さて、今年も総会・懇親会の時期になりましたので、下記のとおり、ご案内申し上げます。今年も総会・懇親会の前に講演会も開催し、片岡一則先生（74年合成化学卒業、東京大学未来ビジョン研究センター特任教授）にご講演頂きます。講演会終了後、総会・懇親会を開催する予定です。懇親会では会員の皆様に旧交を温めて頂くための企画を準備中です。今年も平成6年と平成16年に卒業された会員の皆様に運営幹事を御願っております。ご期待下さい。

なお、会場は山上会館となります。昨年は学士会館で開催しましたが、リノベーション工事が終了したため、今後は山上会館で開催してゆきたいと考えております。

第168回親和会 講演会、総会・懇親会のお知らせ

日 時：2019年11月9日（土）

講演会 14：50～15：50（受付開始：14：30）

総会・懇親会 16：00～18：00

会 場：東京大学本郷キャンパス

講演会：山上会館2階大会議室

総会・懇親会：山上会館1階談話室

講演会講師：東京大学未来ビジョン研究センター片岡一則特任教授

題 目：夢を形に：ナノテクノロジーで創る体内病院

参 加 費：講演会無料、懇親会5,000円。

ただし、昭和41年以前の卒業生は3,000円。

申込方法：次の手順でお申し込み下さい。

親和会ホームページの「WEB会員管理システム」

→会員サイトにログイン→各種お申し込み→2019年総会・懇談会
パソコンでのお申し込みができない場合は、事務局までメール又はfaxにてご連絡下さい。

支払方法：次のいずれかの方法でお支払い下さい。

①同封の振込用紙によるお支払い

②銀行振込によるお支払い

振込先 銀行名：みずほ銀行 支店：根津支店

口座番号：1776835

口座名義：東京大学工学部化学・生命系親和会

③当日、受付で現金でのお支払いも可能です。

ホームページでもお伝えしましたが、2019年9月24日より、年会費、懇親会参加費等のインターネットを利用したクレジット払いができない状況になっております。皆様にはご迷惑をおかけして申しわけありませんが、今回の懇親会参加費等のお支払いは、銀行振込、又は同封の振込用紙による振込でお願いいたします。

運営幹事：平成6年卒、平成16年卒

事務局：電話番号&fax番号 03-5841-7400

メールアドレス shinna@chem.t.u-tokyo.ac.jp

第6回 親和会会長杯ゴルフ大会報告

幹事：伊藤耕三、馬渡和真、尾嶋正治（文責）

2019年5月25日（土）、埼玉県さいたまゴルフクラブで標記第6回親和会会長杯ゴルフ大会を開催しました。今回も親和会会員である大島昭三氏の紹介で土曜日開催が実現し、21名もの参加があり、初めて6組で開催することができました。好天に恵まれ、小宮山宏先生も交えて大変和気あいの楽しいゴルフとなりました。

その結果、大島昭三氏（S44年卒）が見事優勝されました（グロス97、ネット73）。準優勝は石井浩氏（S41年卒）、第1位（3位）とベスグロ（83）は池田全徳親和会長（S50年卒）でした。第7回は2020年5月16日（土）に開催する予定ですので、みなさん、奮ってご参加下さい。幹事は優勝の大島昭三氏とブービーの酒井裕一氏（S54年卒）です。



スタート前の集合写真



池田会長始球式

総会議案

次回総会の議案は左記の通りです。

- 1 平成30年度決算(案)
会報第42号に掲載した決算の承認
- 2 令和元年度予算(案)
会報第42号に掲載した予算の承認
- 3 理事の退任、選任(案)
理事退任の件
藤本健一郎氏
(昭和59年工業化学科)
理事選任の件
西村 恒久氏
(平成5年合成化学科)
- 4 親和会会則の変更(案)
平成15年11月15日から運用されている会則の変更
- 5 旅費規程(案)
親和会業務による出張旅費を支給するための制定
- 6 その他

総会議案第4号東京大学親和会会則(案)

第一条 名称

本会は、親和会と称する。

第二条 目的

本会は、会員相互の親睦を図ると共に母校の発展に寄与することを目的とする。

第三条 会員

本会は、東京大学理学部工学科、工部大学校化学科及び帝国大学工科大学、東京帝国大学工科大学、東京帝国大学工学部、東京帝国大学第二工学部、東京大学第一工学部、東京大学第二工学部、東京大学工学部、東京大学大学院化学系研究科及び東京大学大学院工学系研究科に所属する応用化学科、火薬学科、石油工学科製油専修、工業化学科、合成化学科、燃料工学科、化学工学科、反応工学科、化学システム工学科、化学生命工学科並びにそれらの大学院課程・専攻及び化学エネルギー工学専攻、超電導工学専攻を卒業または修了した者と、教授・助教授・准教授・常勤講師・専任講師・助教として教育に当たった者を会員とする。

第四条 事務所

東京大学大学院工学系研究科内に事務所を置く。

第五条 役員

本会に次の役員を置く。

理事 若干名（うち1名を会長、1名を副会長、1名を事務局長とする。）

監事 2名以内

第六条 役員の選任

理事及び監事は総会において会員の中から選出する。会長、副会長及び事務局長は、理事会において互選する。

第七条 任務

本会の役員の仕事は次のとおりとする。

- 1 会長は本会を代表する。
- 2 副会長は会長を補佐し、会長が業務を行えない場合は、それを代行する。
- 3 事務局長は事務局を統括する。
- 4 理事は本会の運営に関する事項の決定を行う。
- 5 監事は本会の監査を行う。

第八条 任期

本会の役員の仕事の任期は二年とし、再任を妨げない。

第九条 特別役員

本会は会長の補佐役として顧問または相談役を設けることができる。

第十条 総会

定期総会は年一回開くこととし、会長が召集する。なお、会長は臨時総会を召集することができる。

第十一条 理事会

理事会は本会の運営にあたり、目的遂行に必要な事項を審議し決定する。理事会は年一回以上開くこととし、会長が召集する。

第十二条 会費

本会の経費は会費、寄付金及びその他の収入をもって当てる。会費は別にこれを定める。

第十三条 会計年度

本会の会計年度は4月1日に始まり、翌年3月31日までとする。

第十四条 事務局

事務局長及び理事会の指名による幹事若干名で事務局を構成する。事務局長及び幹事は理事会の付託により、会務を執行する。幹事の仕事の任期は二年とし、再任を妨げない。

第十五条 会則の変更

本会の会則を変更するには、総会の出席者の三分の二以上の同意を得なければならない。

付則

- 1 この会則は、平成15年11月15日から施行する。

運営細則

- 1 総会幹事
総会等の幹事は、卒業後25年及び15年の学年がこれにあたる。
- 2 年次代表者会議
会長は、年次代表者会議を開き、各代表者の意見を聞くことができる。

以上

●事務局からのご連絡●

① 事務局からお詫び

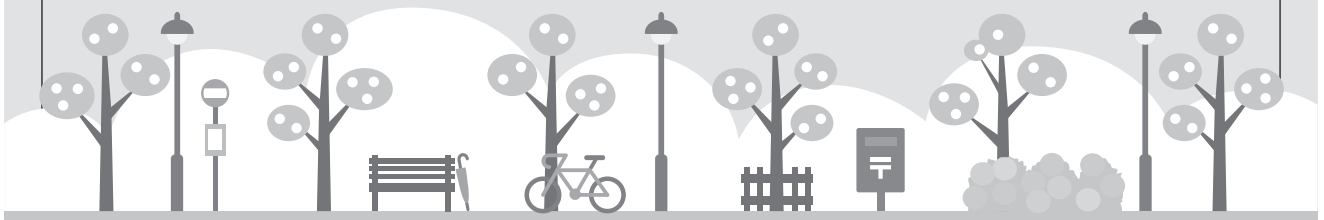
会報42号の「惜別の春」欄に間違いがございました。化学生命工学専攻准教授の橋本幸彦先生が四日市大学へ移られたとの記載をいたしました。退職された橋本先生と四日市大に着任された橋本先生とは同姓同名で別人であると会員の方からご指摘を受けました。ご本人に確認もせず掲載してしまい、誠に申しわけありませんでした。この場を借りて訂正させていただきます。橋本先生、誠に申しわけありませんでした。

② クレジット払いの一時中断について

会員の皆様には誠に申し訳ないのですが、現在、年会費、懇親会参加費等のインターネットを利用したクレジット払いができない状況になっております。クレジット決済会社の仕組みがより厳しくなり、法人格のない団体との契約手続きに時間を要しております。ご迷惑をおかけして申しわけありませんが、今回の懇親会参加費等のお支払いは、銀行振込、又は同封の振込用紙による振込で御願いたします。

③ 国土強靱化計画による5号館の改修工事について

今年の12月から工学部5号館で国土強靱化計画による改修工事が開始されます。5号館を本郷通り側から3区分し、改修工事が行われるとのこと。親和会の事務所は現在5号館1階にあります。従いまして、親和会事務所もしばらくの間、5号館から移転することが予想されます。移転先につきましてはホームページ等でお知らせする予定にしていますので、ご確認下さい。



親和会事務所

〒113-8656

東京都文京区本郷7-3-1

東京大学工学部5号館152号室

電話&FAX：03-5841-7400

E-mail：

shinna@chem.t.u-tokyo.ac.jp

事務局：堀 雅文

親和会事務局を引き継ぎ、約10ヶ月が経過しました。この間の大きなイベントは、①親和会OBと現役学生との懇談会、②2019年理事会、③会報第42号の発行でした。次のイベントが講演会、総会・懇親会で、これが年間を通じての一番大きなイベントです。これが終了すれば親和会の運営が1年間できたと考えます。事務局として、皆様に楽しんでいただけるようがんばりたいと思います。話は変わりますが、親和会の今後の方向性について一旧交を深める場があるだけではなく、どのような事業が会員、現役学生にとって意味あるか、などなど、いつも考えています。①は学生にとって非常に意味のあるイベントと感じています。学生にとっては、企業の人事担当者ではない先輩から本音を聞ける場だと思えます。今後もこのような卒業生、学生にとって有意義な事業を行っていくことができるよう会員の皆様のご意見を伺いたいと考えています。

編集後記